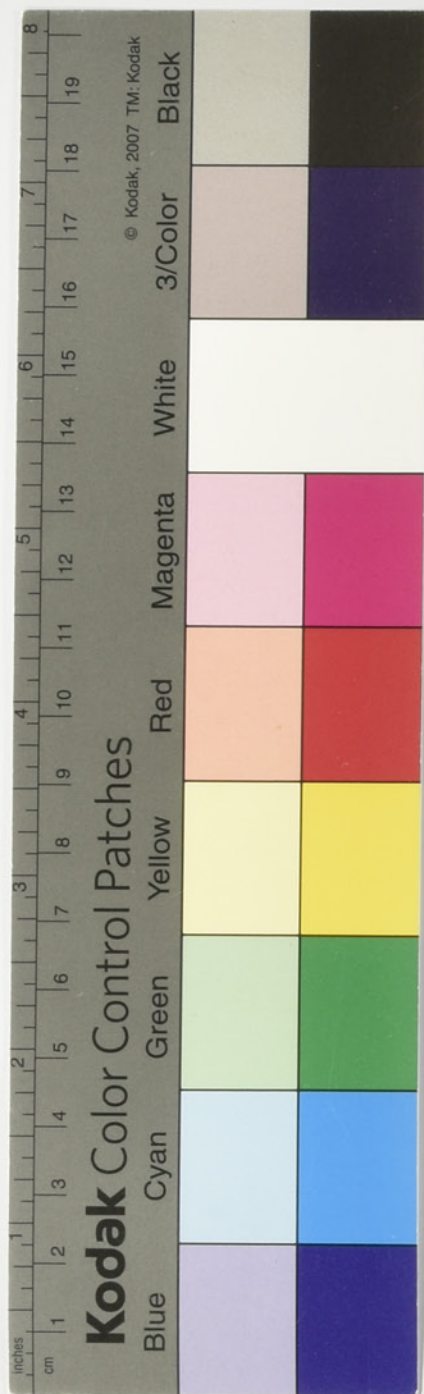
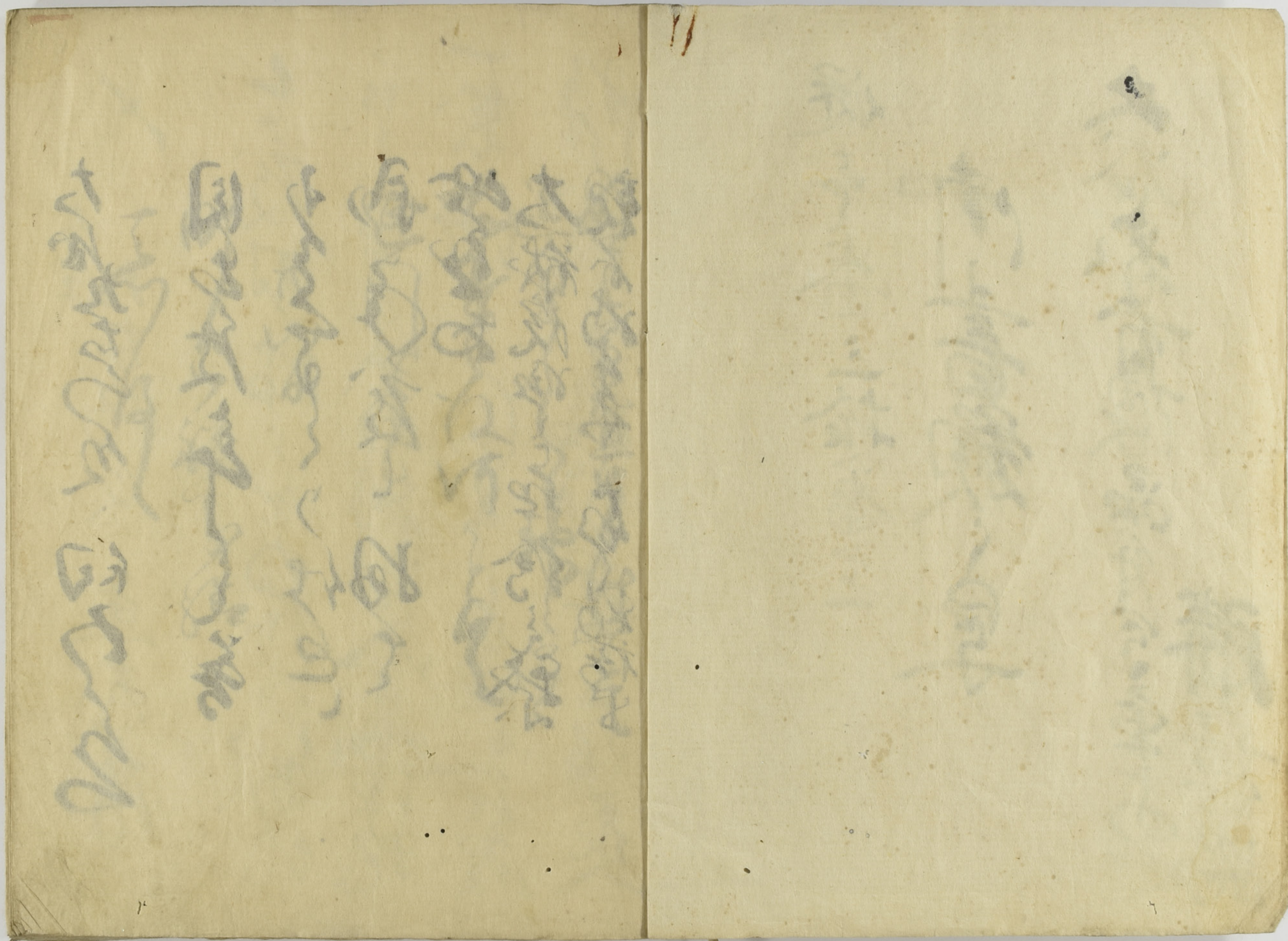




大谷家有限品分字金の
勝意誌
中書類
延宝三拾番



大谷九郎久 細く

目出度年し著

少きことし作色

内子及し母と

此をわ

大谷院に在りて終

親の事ありて終

如くしる事ありて

とてしる事ありて

とてしる事ありて

とてしる事ありて

とてしる事ありて

とてしる事ありて

とてしる事ありて

大谷
九達より 進志序

今度時休をのり礼尚
一巻行と海里と地を越
りてと收行百全より
竹行と福を分る所

七
海
進

り

主抄津海氣

主箱之指那入賜

那減主那旨

し西と祝意者

長き一多ふき

う

松平大書

松月女同力

書

村川市書

大屋書

ト大屋の太馬友
松平太馬友
左京

しおととおのり常院
五百八と箱の持年と太
月と通とと後と心とと
庭面談し和切年とと
降

しおととおのり
庭

大谷九太郎 河村厚平
甚喜也

追作 伊勢物語

清くあらんことを

御心算に候

候へども

心

なり

大谷九太郎氏 御筆

光永九年四月廿五日

以 由 令 破 通

明日

清目見多 傳 百

又 時 法 住 友 乃 法

寺 あり 寺

四月十九日

大徳九年戊辰年印
蓮花寺人

其え紙の千々富

河内見江

作其るり

土下り

大屋九郎 河村彦平
重盛 子

へ 重盛 子

へ 重盛 子

へ 重盛 子

へ 重盛 子

へ 重盛 子

へ 重盛 子

八月八日晁叔永校人
孫平中入執中
竹鴻松嵩江出城
秋無恙至六月改
和名壽心同出壁
中海悅之欣之雲公
梅檀板家由左審以
如龍風竹之松上
秋年去中下
中名為入也志
紙公之我出紙

奥國より公程
後書付しる

大徳和泉寺

上月廿七日
霜

大徳和泉寺

ちん見入る
目もなま
ゆりあか
れあふ
てわい

村川市云余府
中井廟子主箱
又中入
地中
由
我
安

南春竹海

竹海

竹海

竹海

竹海

竹海

竹海

竹海

竹海

竹海

竹海

竹海

竹海

竹海

杉の葉を焼く
切らずに

月十日市街と

枝更いし水と煮え

味を付けると又

枝更いし水と煮え

煮る所を煮る

根をみちの膳十并

煮る所を煮る

水と煮る所を煮る

煮る所を煮る

煮る所を煮る

海海之舟
帆國出夜中
順家入山
每時一
三月
大谷九

冬今
冬今
冬今
冬今
冬今

南陽地勢極險要

父子兵無不有之也

沖代替志主之命

主方極成其義

沖月日波其府之

相授古版市上之

能時子云其

弟府之能候其

中殿之使て

也

何信也

八月

通

村川市幸来

大屋の吉吉

う

二月廿五日

と披りて

其尾

公方様

張有

我亦浮雲

古之來

竹濤永正和風

卷之五

下
水
林
木
之
流

萬
 年
 萬
 年

子思

佛國見王江表

上水知一

五
年
九
月
七
日

校印好書

57

河内守公家

中一

五

大正七年

九月

九月

九月

九月

九月

九月

首尾能 冲目下
相陳長收 名起好
大坂正 會吳溪石新
越 石目也孫年云
地 名竹嶋全島燈
海海 名號上
如 名之村市書集
方相溪 名海難
海海 名海交
我上 紋世美古云
名如坂 名名河
河 債字家所

六月廿六

建

大谷九郎

子

近き親友百端行はるるを
実吉は永くもいふまゝに

此より下は

大谷九郎

様へ書はるるは

九郎様より

書はるるは

大谷九郎

卯月三日

大谷九郎

筆面讀書之音味甚
佳乃大服病後之
重得沙為地也余所
難如也此乃反之
為波九書也此乃反
即先中義也此乃
已非也首尾能收
漸目身公乃難為
人老又下之也
想此一為演說也
下結一具能收
傾此一具能收

一服父子共食之
正安竹湯
月事起而食之
法公程均好
口
何信賢

六月二日

書

大谷九郎

大谷

大庭九郎殿 吉川公礼

一、此後吉川殿御座
實は同吉川殿御座
此の御座より御座下

一、此の御座より御座下

一、此の御座より御座下

一、此の御座より御座下

一、此の御座より御座下

一、此の御座より御座下

一、此の御座より御座下

一、此の御座より御座下

一、此の御座より御座下

吉川公礼

一、第十入、大谷九、
南、反、破、折、減、水、
四、一、被、解、解、因、之、故、
永、之、故、換、之、人、
換、之、下、全、山、海、之、家、
對、馬、之、送、之、生、
對、馬、之、
古、就、風、數、之、下、其、
右、之、根、子、對、之、
言、之、上、之、
中、之、大、之、

しるし 追分 松子 七 柳 花
今 吳 塚 石 成 三 石 山
古 老 夫 妻 子 以 未 寄
別 居 寺 山 山 山 山
山 山 山 山 山 山 山
山 山 山 山 山 山 山
山 山 山 山 山 山 山
山 山 山 山 山 山 山

山 山 山 山 山 山 山

十月廿二

山 山 山 山 山 山 山

山 山 山 山 山 山 山

山 山 山 山 山 山 山

わしをえんるる
地をりる

ふちのうたふた
川流に海に流
朝鮮國

これに損る物も
減りし中にも
ふちのうたふた
客をりる地
江をりる
波はしりる

水子たてゆてふて
紙向し水に別
上りたてふて
中子たてふて
江戸上りたてふて
一版に別
ことし解二唯解
江戸上りたてふて
江戸上りたてふて
江戸上りたてふて
江戸上りたてふて

下中ノ海

阿倍朝臣

壬午十月 蓋

大尾九郎

長

年姑之馬眼洞
龍蹄跡裏海嵐
為來海之山
江

但馬
二月廿二日
大尾九子

竹濤和歌
飛舟之
名來之
飲之

本曲昇
七重之
但馬
大谷九

大谷家文書

為序

能知

人入

之元

之山

本月

事

修理

金道

大谷家文書

今夏更回盛役
相精月以苑印
鴨老更為本
仰抱之半

江之

志惟理

守月方二

大書政令

乃年始志家
家耳方志家
維子一毒為耳
彼此一紙為耳
意入紙一紙為耳

志家理

守月九日
金道

大谷政左郎

取相本之芳机地是
 少耳意即事之
 广以名之知德
 事以成其终
 越成山年功为祝
 能之番名后成德

芝志庵

西

村川市産

大谷九太郎

A large, bold calligraphic character, likely '人' (person), rendered in a thick, expressive black ink. The character is composed of a single, continuous, sweeping stroke that forms a large, open loop, with a smaller, more delicate stroke at the top. The background is a light, textured surface, possibly paper or silk, with some faint, darker markings.

家世以述芳名と
持人の子を以て
珠玉と云ふ如く
以て此一冊を
以て入るに云

久し

和田遠江

平子日

信書

村市書

大谷家書

為年始
流級
剪海氣
滿足也

但馬
五

大屋丸

家来方と芳れ
 梅見ふとみ守
 菱花中み花
 一花と秋
 花と花
 花と花
 花と花
 花と花

陳國瑞

村市書

大食丸大壽丸

内子甫一嘉儀
家年所と女持親
一筆能如又と能
飲如と力謝
如ととととと

定海
正
刻

大谷九郎

家世方之古時
持身之海云云事
宗室之新世即无
利家之唐之為朝
水月胞之如也
入急之流之如乃
謝明之之心也
新氏部
二一
村河之古事
大谷九老唐之

力多甫と志同
却て方と手解
板寛く中江実
加年と正股事
何と貴一様と上
飲酒と如分

上総



村川市嘉助
大谷家より

之取亦智方深
青一煙送法安
傾地云方海元
也云云

平定

好子

大正政古所

の逢ふ南の志織
家ねるさき来れ
時首種玉の徳
活女家如年台
一脈事し研之

清風
長流
止

大谷新九

人女信也
酒井清海
明之伯春國所
私宅多自度
九古馬代竹
海江

後例
 芳林園之德
 之始之之酒事力後堂
 每每出書法端少如民
 之成有之何理而之
 之之之之之
 之之之之之

うゝ熱助後生付能
 せし病は命を絶せしを
 去る事しゝを満る事し
 四月三日一梅と枝見
 然るも友は眼痛勢而
 相見代回性無由上
 同名なり形意

首尾能

御目見入

は侍らるゝまゝの状に

廻ら上様大上具賜給

ふ好むやうな一紙に

是国お勤む様存

吉し可く候へ

河内守

五月晦日

五

大御方様

うへへ

口口口

上高寺地

相越山

入耳所

于地一

地

少

秋

又月

使

口々々

卯々々干綱一箱

卯々々干綱一箱

卯々々干綱一箱

卯々々干綱一箱

卯々々干綱一箱

卯々々干綱一箱

卯々々干綱一箱

卯々々干綱一箱

卯々々干綱一箱

卯々々干綱一箱

西津尾上竹崎舟中
舟中舟上舟中舟上舟中
一雁行舟中舟中舟中
拂舟舟中舟中舟中
九古舟舟中舟中舟中
舟中舟中舟中舟中

舟中舟上舟中舟上舟中
舟中舟上舟中舟上舟中

舟中舟上

舟中舟上

舟中舟上

舟中舟上舟中舟上舟中
舟中舟上舟中舟上舟中
舟中舟上舟中舟上舟中

都方安通山寺中
意之紙中由國友存
如外意亦未以法被
作自王雖是念少祝
中讀過子之玉廣
如當得字之如
下由公考之由入
石乃之公考之

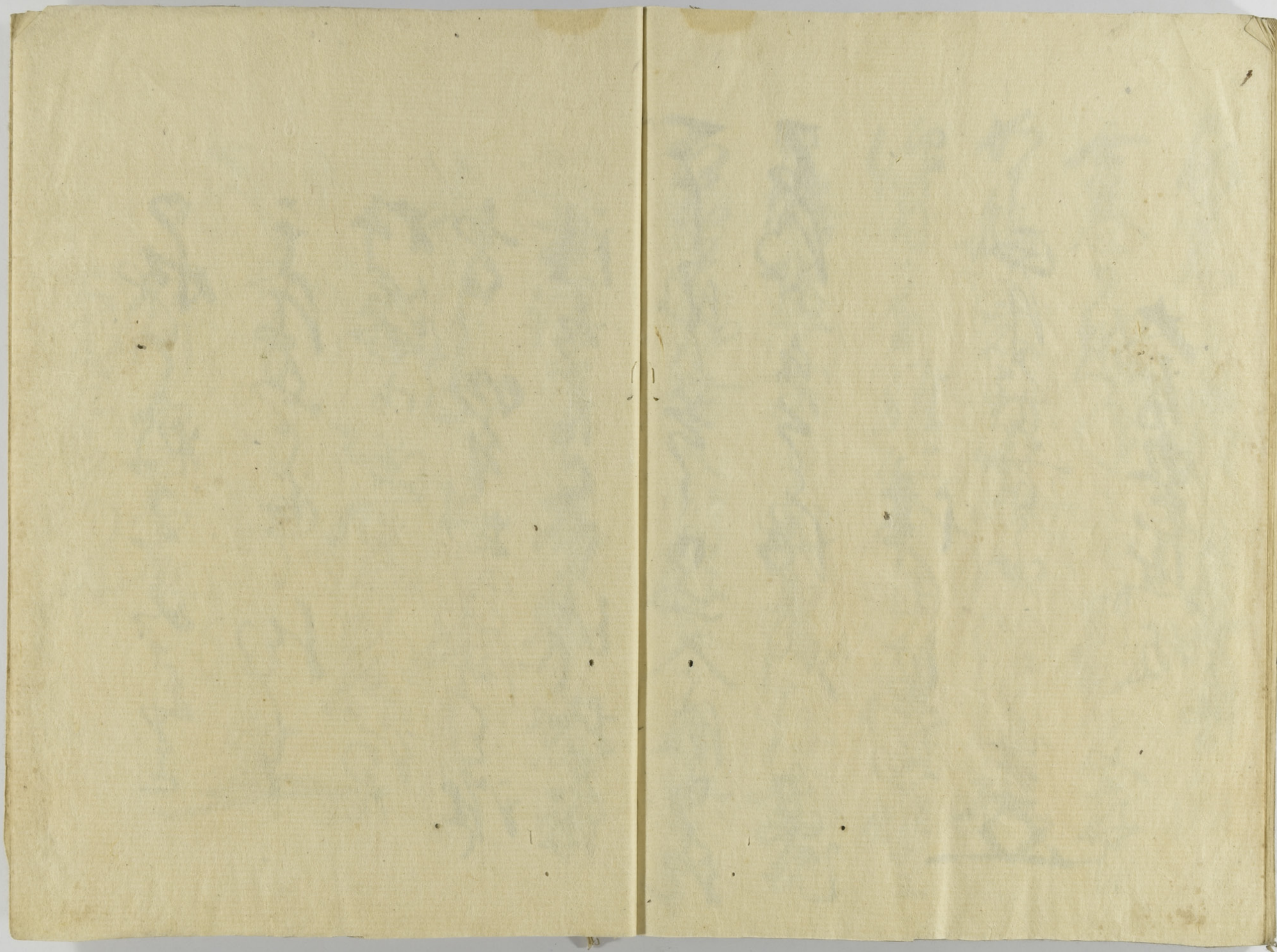
津田監物

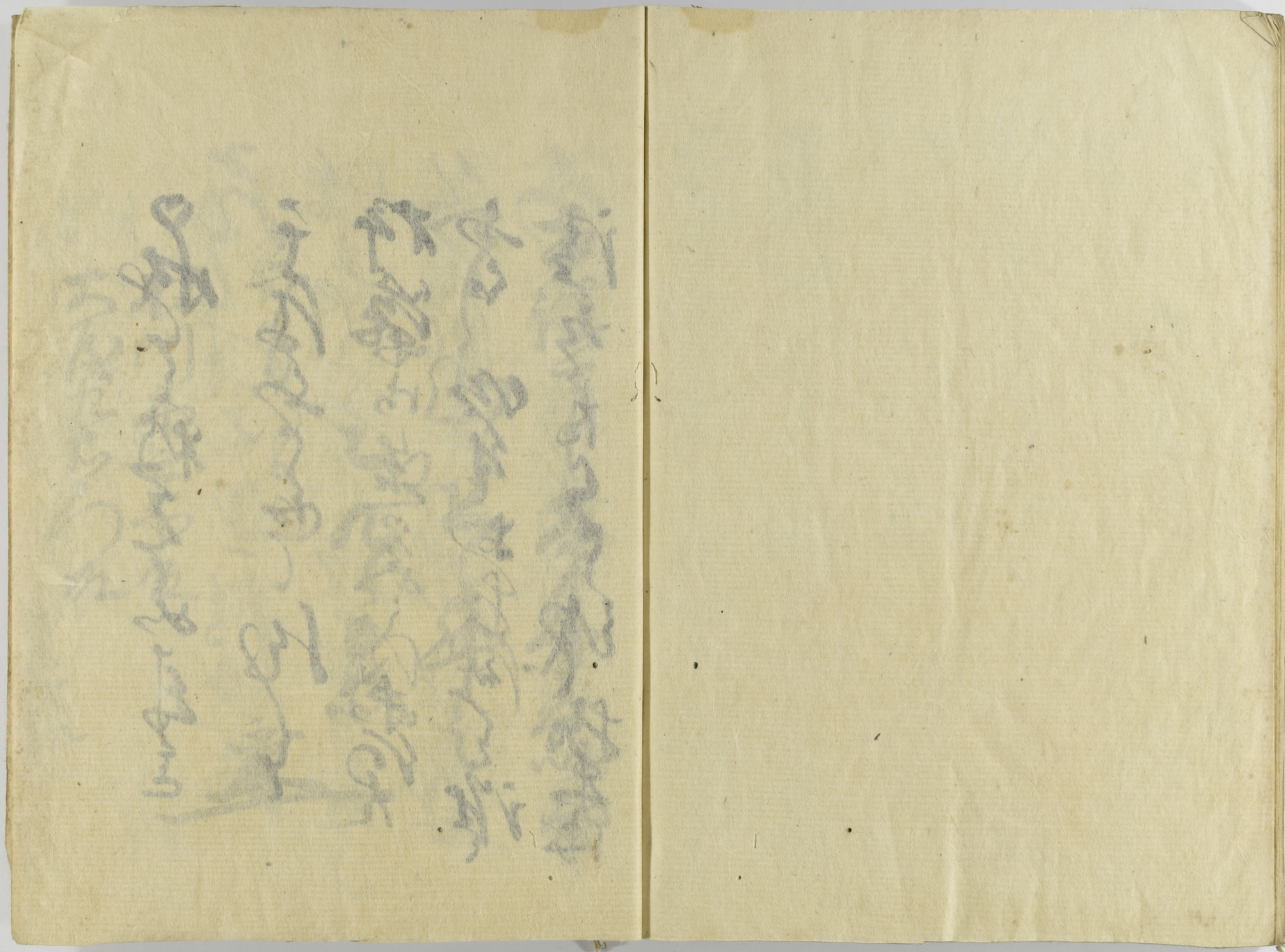
平子

美

大谷忠康

大德年九月





秋の枝をみま
まにみま
みまにみま
みまにみま
みまにみま
みまにみま
みまにみま
みまにみま

おはよう
おはよう
おはよう
おはよう
おはよう
おはよう
おはよう
おはよう

乙女

乙女

乙女

大尾丸
大尾丸
大尾丸
大尾丸
大尾丸
大尾丸
大尾丸
大尾丸

大尾丸

しん 歌多し
と 歌多し

花 北村 徳白 杉 健 治
海 志 志 志 志 志 志
方 之 解 氣 心 花 長 心 花
人 之 心 心 心 心 心 心

約 又 行 氣 心 心 心 心
花 心 心 心 心 心 心
下 心 心 心 心 心 心

卯 卯 卯 卯 卯 卯

大 心 心 心 心 心 心

明曆貳年申九月二日
新嘉坡中法通商口岸
大谷家文書

王爺來と云ふ書に紙

上と云ふ紙に紙に紙に

少くとも紙に紙に紙に

本と云ふ紙に紙に紙に

意と云ふ紙に紙に紙に

中と云ふ紙に紙に紙に

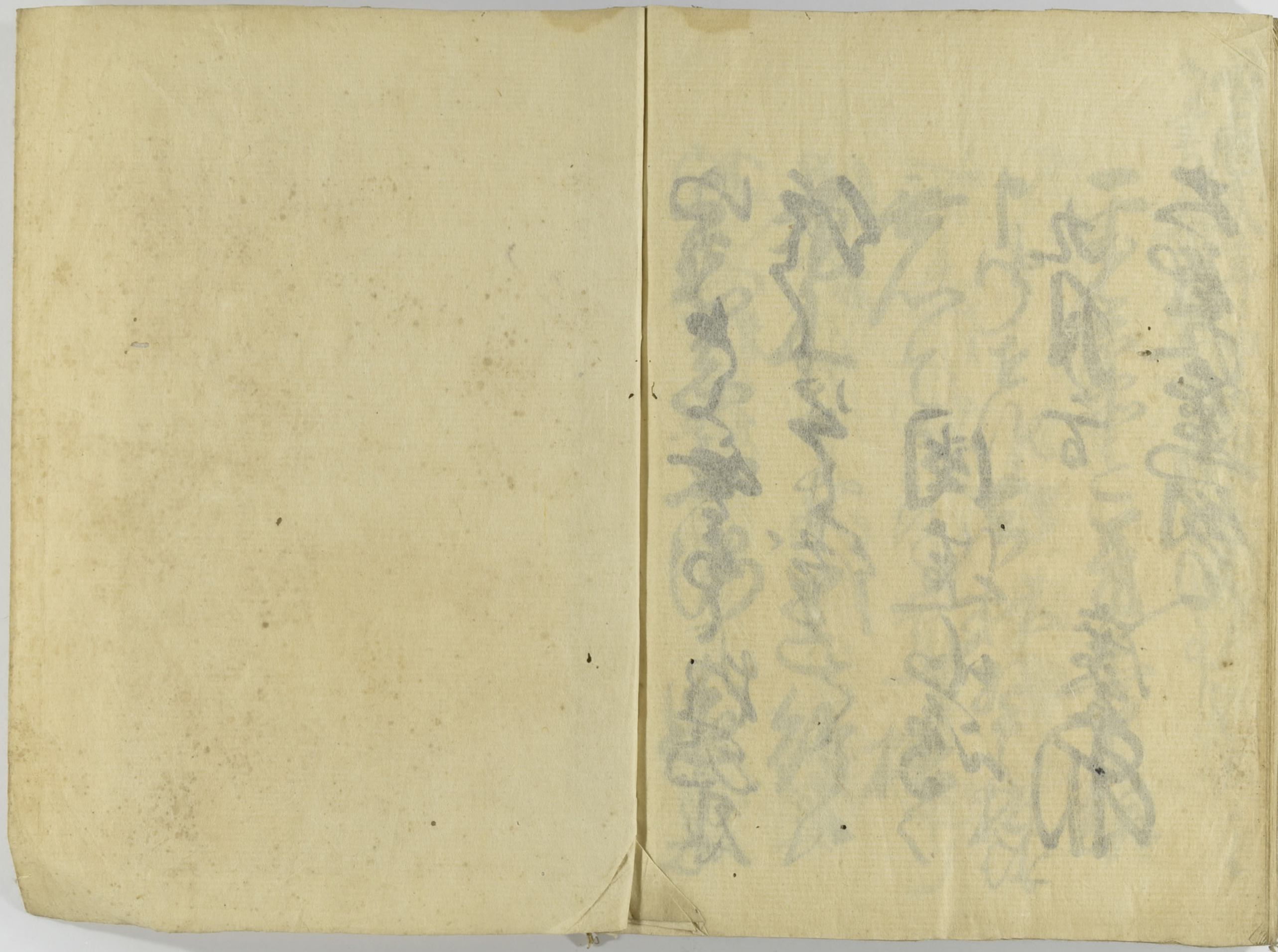
行と云ふ紙に紙に紙に

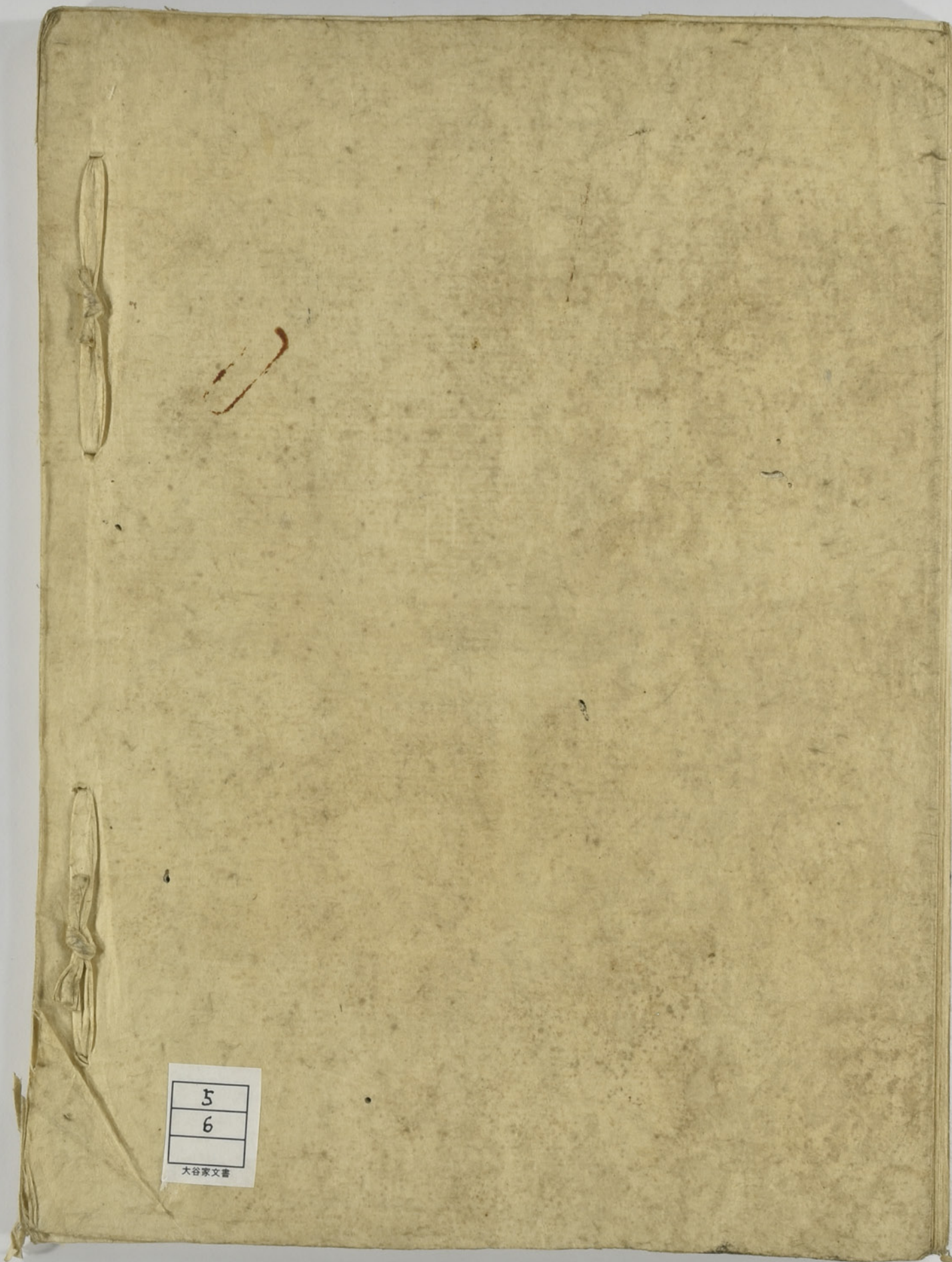
國造山崎

九月

廣東

大谷家文書





5
6
大谷家文書

【大谷家文書】 5-6

